

「ト (ハ) イッテモ」を含む文の分析

An Analysis of Sentences that involve *To (wa) ittemo*

高 橋 美奈子
Minako TAKAHASHI

キーワード: 「トイッテモ」、「トハイッテモ」、「pト (ハ) イッテモ…」、後件の内容、pが表わすもの

1. はじめに

「といっても」・「とはいっても」という形式は、文中で用いられた場合は語句や節を、文頭に用いられた場合は前文あるいは前方に位置する複数の文（文脈）を提示して、後件に繋ぐ働きをする。提示する成分を「p」で表すと、それぞれのpの例には次のようなものがある。

（小説や随筆、新聞web版の記事、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ) 等から実例を採集した。例文中の「／」は、原文では段落が改まっていたことを表す。）

〈pが語句の例〉

- (1) (…)
車窓からちらっと眺めることのできる場所に建つ一軒の住宅。そこが、湯川美雪さんの営む「terre verte」だ。／カフェといっても、単にコーヒーを飲むだけの場ではない。店名の下に「café & books & more」と添えられているように「books & more (本と、その他いろいろ)」に大きな意味合いが宿る場所なのだ。(朝日新聞2015.1.23)
- (2) [引用者注: 20～50代の女性が対象の「生活における不満足度」調査の結果について]
(…)
同じ生活満足度の低い女性たちといっても、「必要」だと考えるものは、世代ごとに大きく異なることがわかりました。(朝日2015.1.15)

〈pが節の例〉

- (3) だが、この民主党政権の3年間で失業率が5.2%から4.4%に改善してはいるとはいっても、就業者数は増えていない。(朝日2014.12.15)

〈pが文の例〉

- (4) しかし、村田先生はC男のこの行動を認めていく。とは言っても、村田先生が、簡単にC男のこの行動を認めていたのではない。(友定啓子『子どもの心を支える』)

〈pが文脈の例〉

- (5) 朝食は、その日最初の栄養補給。頭と体にエネルギーを送るため、時間がなくてもちゃんと取りたい。女子栄養大副学長の香川靖雄さんは[引用者注: 以下、朝食の効用についての説明が数文に亘り続く]／とは言っても、朝はただでさえ忙しい。そこで、

香川さんが薦めるのが、卵を電子レンジで簡単に調理できるココット料理。(読売新聞2010.12.4)

本稿は、このように文中や文頭に「といっても」及び「とはいっても」という形式を内部に持つ文の様相を分析し、「といっても」・「とはいっても」の意味機能を記述することを目的とする¹。なお、これらの形式には次のようなバリエーションが存在するが、本稿ではこれらも考察対象とする。

- ・ 表記面でのバリエーション…「いって」の部分が「言って」や「云って」と表記されているもの
- ・ 文体的なバリエーション…「いって」の部分が「申して」「い（言）いまして」「申しまして」などとなっているもの
- ・ pに当たる言葉が示された後、そのpを「そう」で指示する「そうはといっても」という形

ところで、先行研究には、「といっても」と同様の意味機能が「とはいっても」にもあると記すものと、「といっても」のみ取り上げて「とはいっても」への言及のないものがある。本稿では観察の結果、「とはいっても」も「といっても」と同様の意味機能を持つと考え、以下、両者をまとめた名称としては「ト（ハ）イッテモ」と称することにする²。

2. 先行研究について

2-1 文法形式の解説書より

文法形式の解説書(日本語教育の教材も含む)では、国立国語研究所(1951)、森田・松木(1989)、グループ・ジャマシィ(1998)、市川(2007)、友松・宮本・和栗(2007)等に「ト（ハ）イッテモ」の項目を立てての記述があり、それらの個々の内容については論者も首肯するところである。

それらの内容をまとめると次のようになる(これらの文献では本稿での「p」に当たるものを「先に話題として出された言葉」「前件」「前文で述べたこと」「前に述べたこと」などと表現しているが、論者がまとめに際して便宜上「p」を用いた)。

- (6) 後件に、pという言葉の与えるイメージと実際とのずれ、pから期待される事柄ほどには実際は程度が重くないこと、pという事柄と相反・衝突する内容、pから予想されるのとは異なる実態を述べる。

2-2 「ト（ハ）イッテモ」を論じた研究より

小金丸(1990)、藤田(2000)、陳(2011)を取り上げる。

2-2-1 小金丸(1990)

「～からといって」と「～といっても」を「相手の推論を否定する形式」と捉えて論じるが、

「～といっても」の機能として、次のように述べている（番号は論者による。以下同）。

- (7) 「Pといっても…」という形は、ある事物についてPという語句を用いて表現したことについて、その事物がPという語句で十分適切には表現されていないこと（Pから想起される典型的なものではないこと、Pの持つ性質・実質的内容を伴っていないこと、Pという語句で一括しきれないこと等）を示し、主節において、必要に応じて、より適切な記述を行うものである。(p.34)

「ト（ハ）イッテモ」の機能についての、十分頷ける記述であると思うが、「ある事物について」とあるように、小金丸（1990）は「～といっても」の前に来るのは多くが名詞単独、あるいは既出の語句をほとんどそのままの形で取り上げたものとしている。論者としては、記述の対象となるのは「事物」に限らず他にもあるということを示したいと考える（後述）。

2-2-2 藤田（2000）

藤田（2000）に、「トイッテモ」について、次のような指摘がある（まとめ方は論者による）。

- (8) a. 言葉をとり上げて問題にする「メタ表現的用法」というべき用法がある。

例：ニコチン酸といっても、たばこのニコチンと直接関係があるわけではありません。

これは、「言葉をとり上げて、それが文字どおりに、あるいは典型的に読まれ、理解されることを否認する形で、以下の叙述を導く」(p.435) という働きをする。

- b. 「メタ表現的用法」と区別されるものとして、とり上げる名詞句が述語句に相当するものがある。

例：浅田飴は医薬品である。もともと、医薬品といっても、全然薬臭くない。

これには「名詞の後に『ダ』が挿入可能」「表面に出ていない主語が考えられる」「『トハイエ』と置換可能」（メタ表現的用法では置換不可）といった特徴があるとされる。

(8) a.のような用法については他の研究でも指摘されることがあるが、(8) b.の指摘が興味深い。また、「トイッテモ」全般に関して、次のような記述もあり、これは「ト（ハ）イッテモ」という形式の本質に関わることであると考えられる（後述）。

- (8) c. 「事柄であれ、言葉であれ、そこにとり上げられたものを自然な理解の流れの中におくことを否認するという点で、『トイッテモ』の用法・機能に一貫したものと解することが許されるのではないか。」(p.435)

2-2-3 陳（2011）

「～トイッテモ」の用法を「Ⅰ」・「Ⅱ」に二分し、それぞれをさらに下位分類する。その内容を次にまとめた。

(9)

a. 「Ⅰ、PからQを導くことを否認して、Q'を導入するもの」

- ▶ 「メタ言語レベルの否定」…Pが「言語レベル」であり、PとQとの間に推論が介入していない。「Pと表現したが、そこから、Q=Pの文字通りの語彙的な意味・概念・イメージ・典型=を導くことを否認し、Q'を導入」する、「Pでは一括できず、Q'では、実際にはいろいろあるか、例外があることを示」す、「Pではあるが、Q'では、Pの実質を伴わないか、それほどではないか、すべてがPではないことを表」すといったことを行う。

例：・車はごろごろと引かれて行った。車といっても、不断は野菜などを運搬する大八車なのだ。

・農業といっても、形態は多種多様。

- ▶ 「推論の帰結の否定」…Pが「事柄レベル」であり、Pから推論を導入してQが導かれる。Qによって二つに分けられる。

・Pから、その目的・原因・結果などがQであろうと推論することを否定する。Qが概言的。

例：国際劇場に出入りしていたといっても、遊びではない。

・Pを理由にQ=「～すべき」「～していい」など=を推論することを導くことを否認してQ'を導入する。Qが当為的。

例：[引用者注：藪蚊の発生に関する文章] 秋といっても、油断大敵です。

b. 「Ⅱ、Pに注目するだけでは不十分として、P'を導入するもの」

- ▶ 「Pに注目するだけでは不十分として、Pより、P'のほうがもっと重要であると評価している」もの

例：三村は慣れてきたといってもアルバイトだ。

「人やもの、事柄を考えると、Pという特徴や側面に注目するだけでは不十分として、P'を導入し、Pより、P'のほうがより重要であるというように、話者の評価が関わると思われる」(p. 112)との説明がある。

- ▶ 「P'で、Pに対する疑問や異議を指摘する」もの

例：介護といっても、低賃金で不安定な待遇では人が集まらない。

「認識されていない阻害する要因ややり方の問題を持ち出し、目標、願望などのくいちがいを表す」(p. 114)との説明がある。

「Ⅰ」とされるものの中に否定対象を異にする二種類のものがあって、それらはp(陳2011では「P」)の違いでもあるという指摘、および、「Ⅱ」に示されたような文の存在の指摘に注目したい。

3. 本稿では

「pト(ハ) イッテモ…」という文は、その後件に現れる内容を軸とすると、次のように整理・

分類できる。

(10)

A 後件に「pにそぐわない内容」が記される文

後件の内容：pから直ちに、あるいは通常想起されること—pにおける“普通”や典型、pについての一般的な認識—とは異なる内容、pから予想・期待されるのとは異なる内容

B 後件に「pに属するものの多様性」が記される文

後件の内容：同じpというカテゴリーに属するものの中の多様性

C 後件に「pの実践・実現が、容易に・順調にはいかないという内容」が記される文

後件の内容：pは実践が難しいという意、p実践にあたり、悩んでいる・困っているという意、pの実践・実現を妨げる要因、pの実践・実現に欠かせない重要事項・p成立の要件

AおよびBのような内容は「ト（ハ）イッテモ」の後件としてよく知られているが、ここで言うCのような内容を後件に表す文も、「pト（ハ）イッテモ…」という文には散見する。

そして、これらA・B・Cの後件の内容は、「ト（ハ）イッテモ」が提示するpによって決まる。pに当たる言葉には、(1)～(5)に示したように単位の面でも語、句、節、文、文脈とさまざまなものがあるが、それらが表すものもさまざまであり、それによって後件の内容に特色が生じてくる。詳しくは後述するが、Aの「pにそぐわない」という後件の内容が多くを含むのは、pの多様さの反映である。Aに比べるとBやCは、pの表すものも後件の内容も定まっていると言える。

次節で、A・B・Cそれぞれについて述べていく。

4. 後件に記される内容、およびそれらをもたらしpについて

4-1 A 後件に「pにそぐわない内容」が記される文、およびそのp

後件には、pから直ちに、あるいは通常想起されること—pにおける“普通”や典型、pについての一般的な認識—とは異なる内容や、pから予想・期待されるのとは異なる内容が述べられる。

pとして引用提示される言葉は、1語から文脈まで多岐に亘り、pが表すものも多様である。ここでは、pが表すものを「カテゴリー」・「事態」・「表現」・「発話・記述行為」に区分する。以下、それぞれについて述べる。

4-1-1 pがカテゴリーを表す場合（カテゴリーとしてのp）

pは名詞・名詞句であり、カテゴリーを表す。後件には「pというカテゴリーに属するものの“普通”や典型」とは異なる内容や、「pというカテゴリーに属するものに期待されるの」とは異なる内容が示される。pとしての不足点や不十分さ、大したことのないことについての記述（例（11）（15）（20）（21）等）が多く見られるが（森田・松木1989は「それほどの程度では

なく、せいぜい～」を、グループ・ジャマシィ 1998は「実際には程度が重くない」を、それぞれ「ト（ハ）イッテモ」の表す意味に挙げている）、そればかりではない。pが「一般によくないとされるもの」で、後件に述べられるのがそれにそぐわない・それから外れる「よいもの、よい内容」である場合もあるし（(12) (13)）、機能や構造がpというカテゴリーの通常のものとは異なるという場合もある（(14) (1) (16) (17)）。

特定の存在（ここではXと表す）を話題とし、それについて説明している文章・談話においては、そのXの属するカテゴリーとしてのpが問題になる。そうでない場合は、pというカテゴリーそのものが問題になる。

◆ Xのカテゴリーとしてのpが問題となる場合

特定の存在Xを話題とし、それについて説明する文章・談話において「pト（ハ）イッテモ…」という文が用いられる場合、その文は「Xは、pというカテゴリーに属する（pという属性を持つ）が、pの“普通”や典型ではない・pから想起・予想されるのとは異なる性質を持つ」ということを述べる。

Xは、同じ文中に主題として示される場合もあるが（例：(11)の「私のところは」、(12)の「先祖は」）、そうでない場合もある。それでも、(13) (1) (14)は前文脈からXに当たるものが自明であるし、(15)～(17)は引用に際して前文脈を割愛したが、それぞれある特定の人間（(15)の話し手）や市場や絵画についての説明であり、それらがXに当たることがわかる。

- (11)「さすが京都の人ですね」とかいわれたら、「いやあ、私のところは京都というても田舎ですさかいに」というのが掟である。（八幡和郎『江戸三〇〇藩バカ殿と名君』）
- (12)「先祖は、おまえ、下級とはいっても諫早藩士だからな、なにひとつ人生を卑下することはないんだぞ。」（日本文藝家協会 編『文学』2000）
- (13) 彼らは（…）傷んだ葡萄を取り上げては、ポイポイと無造作に周辺に投げ捨てている。いくら使えない葡萄とはいっても私には憧れのシャトーの愛しき葡萄だ。（福島敦子『これが「美味しい！」世界のワイン』）
- (1)（再掲）（…）車窓からちらっと眺めることのできる場所に建つ一軒の住宅。そこが、湯川美雪さんの営む「terre verte」だ。／カフェといっても、単にコーヒーを飲むだけの場ではない。店名の下に「café & books & more」と添えられているように「books & more（本と、その他いろいろ）」に大きな意味合いが宿る場所なのだ。（朝日2015.1.23）
- (14) 紀の川市の名利・粉河寺に近い県立粉河高校には、ユニークな塾がある。その名はKOK●塾「まなびの郷」。塾といっても受験科目を学ぶのではなく、学びの素材は地域だ。和歌山大学と連携して、地域に根ざし、地域とともに歩む高校をめざしている。（朝日2015.3.3）
- (15) [横綱・鶴竜へのインタビュー]「横綱といっても、まだまだ修行中です」（朝日2015.1.5）

- (16) 市場といっても、日本の魚市場や青果市場のようなものを想像したら、大間違い。
ビルの地下1階から8階まで計約4万平方メートルに、小さな店がぎゅうぎゅうに詰め込まれているのだ。(朝日2015.1.27)
- (17) 絵画といっても十センチばかりの厚みがあり、箱のようにになっている。(読売2014.12.4)

このような「(Xは) pト（ハ） イッテモ…」という文は、(8) b.に示した藤田（2000）の「とり上げる名詞句が述語句に相当するもの」に当たると考える。藤田（2000）では「表面上に出していない主語」とされていたものがXである。上記のように、Xは同じ文中に明示される場合もあるが、そうでない場合もある。

◆ pというカテゴリーそのものが問題になる場合

上記の（1）、（11）～（17）のような、特定の存在Xの説明でXのカテゴリーとしてのpが問題になっている場合とは異なり、Xはなくpそのものが問題になっている場合である。「pというカテゴリーにおける“普通”や典型と異なる内容」（(18)）、「pというカテゴリーのものに予想・期待されるのとは異なる内容」（(19)～(21)）等が、後件で述べられる。

- (18) 「子連れプチ断食ツアー」の発想のきっかけは、私がずっと「子連れ合宿」をやりたいな、と思っていたこと。(略) 断食といっても、つらいのは嫌、というのが私の基本姿勢。部屋でじっと空腹に耐えるよりは、楽しいことをやろう、と（…）(読売2015.1.14)
- (19) [自然エネルギーの活用が非常に進んでいる外国の島に取材した記事]（…）／「私たちの失敗から日本も学んでほしいのです」／聞けば、自然エネルギーとはいっても、景気の影響からまったく自由というわけにはいかないのだそうです。(朝日2013.5.28)
- (20) とはいえ、まあ、一般に、市況情勢の分析とか、アナリスト予測とはいっても、予想の確率はそんなに高い精度ではないし、根拠も薄っぺらい。(朝日2013.10.3)
- (21) でも今までは演技といってもCMや再現ドラマのエキストラばかり。今年こそは映画に出てみたいと思っています。(朝日2015.1.15)

4-1-2 pが事態を表す場合（事態としてのp）

pとして取り上げられる言葉は、名詞1語から文脈まで様々であるが、それらは事態を表す。後件には、「pという事態に、実態がそぐわないこと」((22))、「pという事態に反する事態」((23))、「pという事態から想起・類推されることに反する内容」((24) (25) (3) (4)) 等が示される。

- (22) リノベーション済みの物件は下記の3つの大きなメリットがあります。(…)／自分好みにリノベーション！と言っても、さまざまな要因で、仕上がりがイメージと違うということも聞かれます。／リノベーション済み物件なら、気に入った物件を購入す

るだけですので、／後悔することがありません（朝日2015.4.6）

- (23) [注：秋田県横手市では納豆を自作する農家が伝統的に多いという話があって、] 山菜やキノコは春や秋に採ったものを塩蔵しておき、納豆汁を作る際に塩抜きをする。手間がかかり具たくさんなため、冠婚葬祭など晴れの日の食事として定着したという。／とはいっても、納豆を自宅で作ることもなく、山菜を塩蔵する習慣もなくなってきたため、家庭で納豆汁を食べる機会も減ってきたという。（日経2015.1.14）
- (24) 育児用品最大手のピジョンは、ベビーカーの販売に力を入れる方針だ。少子化時代とはいっても、高機能な商品を中心にベビーカー市場は底堅いからだ。（朝日2014.12.10）
- (25) でも、ダイエット中とはいっても、少しは揚げ物も食べていいと思いますよ！野菜・魚中心がもちろん望ましいですけど。（Yahoo!知恵袋/健康、美容とファッション）
- (3) (再掲) だが、この民主党政権の3年間で失業率が5.2%から4.4%に改善してはいるとはいっても、就業者数は増えていない。（朝日2014.12.15）
- (4) (再掲) しかし、村田先生はC男のこの行動を認めていく。とは言っても、村田先生が、簡単にC男のこの行動を認めていたのではない。

4-1-3 pが言語表現である場合（言語表現としてのp）

pという表現・名称・文言などを提示した上で、「pの字義通りの意味解釈や、pという表現から想起・予想されるのとは異なる内容」((26) (27))、「pという表現・文言にふさわしくない・合わない内容」((28) (29))など、pという表現との実態とのずれや乖離が後件に述べられる。(8) a.に示した、藤田(2000)が「メタ表現的用法」としていたものはこれに当たると考える。

- (26) 「ローリスク」といっても、あくまで株式や海外債券を中心に組み入れているタイプと比べて基準価格の値動きが緩やかであるということに過ぎません。絶対に値下がらないというわけではありませんので、…（朝日2015.2.14）
- (27) レモンタイムとはいってもレモンではありません。レモンタイムは、レモンのようなすっきりとした風味のあるフランス料理にはかせないハーブ。（朝日2015.3.8）
- (28) 不漁続きだったウナギの稚魚の漁獲量が今シーズン、県内で持ち直している。(…) 12年度10.7キロに比べると大幅増だ。／ただ、05年度の2月末では250.8キロも取れており、「好調」とは言っても不漁続きの4年間と比べてのこと。県の担当者は「以前と比べれば相変わらず低い水準。とても資源が回復したとは言えない」(…)（朝日2014.4.9）
- (29) (…) 県警の発表では、山城議長らは、正当な理由がないのにシュワブ敷地内に侵入した疑いがあるという。／複数の目撃者によると、山城議長は抗議する仲間らを制止しようとして「引け」と叫んでいた。その際、米軍の日本人警備員に引っ張られ、数人がかりで足などをつかまれて基地内へ連行された。／侵入といってもゲート前に引かれた黄色い境界線をほんの1、2歩越えたかどうかだったという。そばには県警機

動隊員が何人もいたが、山城議長らの行動を見ても身柄を拘束しようとはしなかった。
米軍側の強引な行為だったと言わざるを得ない。（朝日2015.2.24）

4-1-4 pが発話・記述行為である場合（発話・記述行為としてのp）

次は「ト（ハ） イッテモ」の前が節や文や文脈の例であるが、4-1-2のような、pという事態（事態としてのp）を問題にする文とは異なると思われる。

- (30) あなたのご自宅のテレビは、どんなOSを使っているのでしょうか？ といっても、それを答えられる人はまずいないはず。テレビはスマホでもパソコンでもないのに、「使っているOSがなにか」を気にする必要はありません。（…）（朝日2015.1.15）
- (31) 「まずは自己紹介といこうか、とは言っても君の事だから知っているかもしれないが、私は金雲南、肩書きは最高人民会議常任委員長（…）（T・ハダメ『脱北作戦』）
- (32) 「世界一やさしいお金の授業」主宰 杉森真哉からのご挨拶／無料アプリ『2015年金運診断』の10の質問は、人生の運命を分ける大事な質問を中心に構成しました。／ぜひ、あなたの将来の金運を上げるために、お金に対する価値観や考え方を見直すきっかけにしてください。／とは言っても気負うことなく、気軽に楽しみ下さいね。（朝日2014.12.9）

これらの特色は、pが、聞き手（読み手）への質問（(30)）、提案（(31)）、勧め（(32)）など、話し手（書き手）から聞き手（読み手）への働きかけである点にある。pとして問題にされているのは、質問・提案・勧めなどの話し手の発話（記述）行為であり、「ト（ハ） イッテモ」を介して、それらの発話（記述）行為にそぐわない行為が後件で行われていると考えることができる。

質問をしておいて「答えられる人はいないはず」と続ける、自己紹介しようかと言い出しながら、「もう知っているかもしれない」と、提案が無意味になりかねないことを言う、「人生の運命云々」「価値観や考え方を見直すきっかけに」など深刻めいたことを言っておいて一転「気軽に楽しみ下さい」と続けるなど、後件にはpから予想される内容、pからの順当で当たり前の流れ・展開に齟齬をきたすような内容が述べられているのである。

4-2 B 後件に「pというカテゴリーの中の多様性」が記される文、およびそのp

先行研究でも指摘されているが、「pト（ハ） イッテモ」の後件として、「p」として一括しきれない複雑さ、種類の多さなどを述べる文がある。これは、pというカテゴリーに属するもの、pとして括られるものの内部に存在する多種多様性について述べる文とすることができる。

4-1-1で見たのと同様に、特定の存在（X）を話題とし、それについて説明している文章・談話においては、そのXの属するカテゴリーとしてのpが問題になる。そのようなXが存在しない場合は、pというカテゴリーそのものが問題になる。

◆ Xのカテゴリー pが問題となる場合

文章・談話で特定の存在Xが話題となっており、それについて説明するのに、Xが属するカテゴリー pという面について述べる。この「(Xは) pト (ハ) イッテモ…」の文は次のような内容となる。

- ・Xはpというカテゴリーに属するが、pに属する他のものとは異なる点もある(例(33)(34))
- ・X(複数存在)はpというカテゴリーに属するが、互いに異なる点もある((35))

(33)～(35)のpはそれぞれ「日本語」、「物理学(の研究者)」、「(体が)大きい³」であり、Xはそれぞれ「江戸時代の江戸語」、「私(の方)」、「男子三人」である。

- (33) それに、同じ日本語とはいっても、江戸時代の江戸語は現代の日本語とかなり違う。(石川英輔『大江戸庶民いろいろ事情』)
- (34) 同じ物理学とはいっても、私の方は、湯川さんとは全然専門がちがうし、それにあの難解な理論は、全く分らない。(中谷宇吉郎『雪は天からの手紙』)
- (35) 男子三人、そだつにつれて、どれも大きいとはいっても、からだのかたちめいめい相違があらわれて来た。(石川淳『ちくま日本文学全集 石川淳』)

◆ pそのものが問題になる場合

上記と異なり、文章・談話の話題である特定の存在Xをそのカテゴリー pの面から説明しているのではなく、Xはなく、pというカテゴリーそのものが問題となっている。後件には、pというカテゴリー内部の多種多様性が述べられる。(2)(36)(37)のpはそれぞれ、「生活満足度の低い女性たち」、「炭水化物」、「防災グッズ」である((38)(39)は見ての通り、それぞれ「空き家」「遺伝子診断」である)。

- (2) (再掲) [20～50代の女性対象の「生活における不満足度」調査について] 女性の9割は、「現在の生活に何か足りないものがある」と感じていることが分かりました。(…)／「自身の充電期間を十分に過ごすために必要なもの」が何なのか複数回答形式でうかがうと、(…) 20代が「時間」(69%)、30代は40代と同じ「お金」(55%)、50代では「体力」(45%)が他の年代よりも高いという結果に。／同じ生活満足度の低い女性たちといっても、「必要」だと考えるものは、世代ごとに大きく異なることがわかりました。(朝日2015.1.15)
- (36) ひとくちに炭水化物といっても果糖や砂糖、でんぷんなど色々あり、消化・吸収にかかる時間も違うからだ。(朝日2015.1.27)
- (37) いざという時に役立つ防災グッズを紹介するとともに、選び方のポイントをまとめた。／一言で防災グッズと言っても、状況によって必要なものは違って来る点を、まずは頭に入れておきたい。(読売2015.1.24)
- (38) ただ、空き家といってもいろいろとタイプが異なる。別荘などを除いた空き家総数の内訳を見ると、「賃貸用目的」が429万戸、「売却用目的」が31万戸ある。(朝日

2015.1.3)

- (39) 「遺伝子診断」といっても、「どの遺伝子を調べるのか」、「その遺伝子が病気のリスクなどの判定結果にどの程度強く影響するのか」、「病気の場合、その病気は重篤なのか、治療法はあるのか」といった多くの要因によって、その医学的有用性は相当異なってくる。（読売2015.1.6）

先行研究には、「一口に～といっても」を固定した言い回しとするものがある。pというカテゴリーに属するもの、pとして括られるものの内部に存在する多種多様性を述べる文には、pを修飾する「同じ」という語や、「（と）いう」を修飾する「一口に」「一言で」といった語を含む⁴ものが多いのは事実だが、(38) (39) のように含まない例も多々ある。「同じ」「一口で」「一言で」等の語を伴わなくても、「pト（ハ） イッテモ…」の文は、pというカテゴリー内の多様性や多種類について述べ得るのである⁵。本稿で、後件の内容による区分の一つとして立てる所以でもある。

4-3 C 後件に「pを実践・実現することが、容易に・順調にはいかないという内容」が記される文、およびそのp

pは語から文脈にまで亘り、行為や事態を表すが、その文章・談話においては、取り組むべき課題、実現が望まれる事態と見なされているものである。後件には、そのpの実践・実現が必ずしも容易にいかない、順調には進まないという内容が述べられる。その後件の内容を4つに整理して示す（該当部分に _____ を施す）。

◆ pは実践・実現が難しいという意

- (40) ギャンブル依存からの脱出といっても、そう容易なことではない。（朝日2015.1.30）
(41) 現地企業に入り込むといっても、急には難しいでしょうから、少しずつ取り組んでいきます（朝日2015.2.20）

◆ p実践にあたり、悩んでいる・困っているという意

- (42) 自立活動の指導といっても内容に悩む先生は多い。（朝日2015.1.10）
(43) (…)マーケティング手段が多様化すると同時に、統合的にマーケティングをマネジメントすることが求められる時代へと急速に変化しています。しかし、統合マーケティングマネジメントとはいっても、どこから手をつければいいのか悩まれる企業が多いことも事実。（朝日2014.6.23）
(44) (…)披露宴は行わず、親族のみの結婚式を考えています。とはいってもどんな場所を探したらいいのか、どんな形で行うのがいいのかさっぱりわかりません。（Yahoo! 知恵袋）

◆ pの実践・実現を妨げる要因⁶

- (45) 治療を受ける患者としては、安全で確実な手術ができる医師を見極めたい。と言っても、医師の本当の腕前は病院の外側からは見えにくい。(朝日2015.3.28)
- (46) いまいちばん注目を浴びているイスラームの復興または原理主義のことを考えてみたい。とは言っても、イスラーム問題は非常に複雑で多岐にわたる。この問題を比較的全般にわたって解説し(略)(浅見定雄著 歴史学研究会編『講座世界史』12)
- (5) (再掲) 朝食は、その日最初の栄養補給。頭と体にエネルギーを送るため、時間がなくてもちゃんと取りたい。女子栄養大副学長の香川靖雄さんは[以下、朝食の効用についての説明が続く] ／とは言っても、朝はただでさえ忙しい。そこで、香川さんが薦めるのが、卵を電子レンジで簡単に調理できるココット料理。(読売2010.12.4)

◆ pの実践・実現に欠かせない重要事項、p成立の要件

「それがなければpの実践に差し支える、pが実現できない」といった重要な事柄が後件に示される。

- (47) 写真を売りつけるといっても、その前に、きちんと写っているかどうかを確認しなければならぬので、男はフィルムを現像しようとした。(朝日2015.2.27)
- (48) 「商品化するには、狙った場所にぴたりと接合できるレーザーでやるしかないと感じていた」と、同社の岩堀一夫・取締役は振り返る。／ただ、レーザーを使うといっても、1ミリ以下の正確さが求められる上、表面を滑らかに仕上げる必要がある。どのような波長の光を、どの方向に、どんな強さで、どの程度の速さで打つのか。(…)(読売2015.1.26)
- (49) 雑談の糸口として相手の時計やネクタイなど、身の回りのものをほめるのは常道だ。ただ渡瀬さんは「むやみにはめるとわざとらしい感じもする。お世辞を並べるより『珍しい文字盤ですね』などと感想を述べた方が自然では」と話す。相手の答えから時計へのこだわりを感じれば「一番お気に入りの時計は」などと、話を掘り下げればいい。／とはいっても、あくまで「空気を読みながら」が鉄則。立ち入ったことを聞いて、嫌がられないようにしたい。(朝日2013.6.24)

以上、本節では「pト (ハ) イッテモ」の後件内容の特色、それらをもたらしpの特徴について述べた。

5. おわりに

4に記述したことを表にまとめると次のようになる。

【「p ト（ハ）イッテモ…」の文の分類】

	p が表わすもの	後件に記される内容	備 考
A	・ カテゴリー ・ 事態 ・ 言語表現 ・ 発話・ 記述行為	p にそぐわない内容 ： p から直ちに、あるいは通常想起されること—p における“普通”や典型、p についての一般的な認識—とは異なる内容、p から予想・期待されるのとは異なる内容	p がカテゴリーを表す場合、特定存在 X のカテゴリーとして問題になっている場合と、X
B	カテゴリー	p というカテゴリーに属するものの多様性 ： 同じ p というカテゴリーに属するものの中の多種多様性	がなく p そのものが問題になっている場合がある。
C	行為や事態—取り組むべき課題、実現が望まれる事態と見なされているもの	p の実践・実現が、容易に・順調にはいかないという内容 ： p は実践が難しいという意、p 実践にあたり、悩んでいる・困っているという意、p の実践・実現を妨げる要因、p の実践・実現に欠かせない重要事項・p 成立の要件	

では、A・B・Cに通底する「p ト（ハ）イッテモ」の意味機能はどのように表せるだろうか。

2-2-2で、藤田（2000）の「事柄であれ、言葉であれ、そこにとり上げられたものを自然な理解の流れの中におくことを否認するという点で、『トイッテモ』の用法・機能に一貫したものがあると解することが許されるのではないか。」(p.435)という見解を紹介したが、論者の結論としてもその見解に首肯できる。

「ト（ハ）イッテモ」は「トイウ」と「テモ」との複合形式である⁷。「テモ」は「逆条件」あるいは「譲歩」、すなわち「前件から一般的に予想される結果が成り立たないこと」を表す形式である。「トイウ」は引用の助詞「と」および、発話行為を意味する動詞「言う」に由来し、言葉を引用・提示する機能を持つ形式である。

「トイウ」によりp—カテゴリーを表す場合、行為や事態を表す場合、言語行為を表す場合などなどさまざま—を提示しておきながら、あるいはpという表現をしておきながら、「逆条件」（「譲歩」）の形式を続けることにより、そのpに対する、あるいはpに基づく、普通の・通常の・尋常な・順当な解釈や理解が成り立たないことが表わされる。pからもたらされる「普通でない・通常と異なる・尋常でない・順当でない解釈や理解」とは、すなわちA・B・Cの後件のような内容である。

「ト（ハ）イッテモ」全般に通底する意味機能については、次のように表すことができる。

- (50) 「p ト（ハ）イッテモ…」は、pを提示する・pと表現することをした上で、pに対する普通の・通常の・尋常な・順当な理解、あるいはpに基づく普通の・通常の・尋常な・順当な解釈が不適切であることを示し、適切な理解のために必要な内容を後件に記す。

(50) は「ト (ハ) イッテモ」の意味機能の記述としては特に目新しい要素を含まないが、本稿では「pト (ハ) イッテモ」の後件をA・B・Cのように整理し、それらをもたすさまざまなp、その特色について示すことができたと考える。

今後の課題としては、同じように言葉を引用・提示する「トイウ」を内部に持つ種々の複合形式のうち、逆接の意味を持つもの（例：「ト (ハ) イウガ」、「ト (ハ) イウモノノ」、「トハイエ」、「トイエドモ」、「トイッテ」等）との相違についても考えたい。

【参考文献】

- グループ・ジャマシィ (1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
 小金丸春美 (1990)「相手の推論を否定する形式をめぐる」『梅花短大国語国文』3
 国立国語研究所 編 (1951)『現代語の助詞・助動詞一用法と実例一』秀英出版
 白川博之 監修 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘 著 (2001)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
 田中寛 (1989)「逆接の条件文〈ても〉をめぐる」『日本語教育』67号 日本語教育学会
 陳新妍 (2011)「『～トイッテモ』『～カラトイッテ』に」について『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』第32号
 友松悦子・宮本淳・和栗雅子 (2007)『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』アルク
 日本語記述文法研究会 編 (2008)『現代日本語文法⑥ 第11部複文』くろしお出版
 日本語記述文法研究会 編 (2009)『現代日本語文法⑤ 第9部とりたて 第10部主題』くろしお出版
 蓮沼昭子 (2005)「テモ・タッテ・トコロデ―逆条件」『新版日本語教育事典』大修館書店
 藤田保幸 (2000)『国語引用構文の研究』和泉書院
 前田直子 (2009)『日本語の複文 条件文と原因・理由文の記述的研究』くろしお出版
 前田直子 (2014)「譲歩」日本語文法学会 編『日本語文法事典』大修館書店
 森田良行・松木正恵 (1989)『日本語表現文型』アルク

- 1 ただし「何といっても」「～といっても {いい／過言ではない}」といった固定した言い回しは対象としない。
- 2 実例の分布状況は、後述する区分A・B・Cを問わず、概ね「トイッテモ」「トハイッテモ」両形式が現れていた。ただBの中の「カテゴリー pそのものが問題となる」場合の例は、「トイッテモ」に偏っていた。
- 3 カテゴリーを表すpは名詞であることが多いが、これは形容詞の例である。
- 4 「一口に」や「一言で」が「と」と「いって」の間に位置し、「と一口にいっても」「と一言でいっても」となることもある。
- 5 ちなみに、「一口に」が「といっても」以外の形式（「というが」等）と共起してpの多様性について述べる文もあるが、その場合は「一口に」が必須である。
 - ① 一口に日産車といいますが、GT - RとマーチではOILの酷使度が違います。(Yahoo!知恵袋/スポーツ、アウトドア、車/自動車)
 - ①' *日産車といいますが、GT - RとマーチではOILの酷使度が違います。
 - ①'' 日産車といっても、GT - RとマーチではOILの酷使度が違います。

② 一口にスプーン といっても、赤ちゃんからお年寄りまで、使い方や口の大きさまで違う。(朝日2015.1.16)

②' スプーン といっても、赤ちゃんからお年寄りまで、使い方や口の大きさまで違う。

- 6 陳（2011）が「Ⅱ」の「Pで、Pに対する疑問や異議を指摘する」として示す例文と、内容的に重なるものがある。
- 7 正確には、「トイウ」のテ形+とりたて助詞「も」から成る（それに、とりたて助詞「は」が加わることもある）。

